

松江市総合計画（2017-2021） 令和元年度実施状況

令和2年 11月 松江市

1 はじめに

松江市総合計画（2017-2021）の実行性、即応性を高めるため、基本施策ごとに成果を表す指標を設定し、本市独自の行政マネジメントシステムを活用したPDCAサイクルにより徹底した施策評価と見直しを行っています。

本報告書は、指標の達成状況についてまとめ、外部委員で構成する「松江市総合計画・総合戦略推進会議」で検証するものです。

2 施策の実施状況

【目標指標の評価方法】

総合計画の最終年度目標値から令和元年度の推定目標値を算出し、令和元年度までの実績値を比較して達成率を算出し評価区分を判定しています。

達成率が100%以上をA、99～80%をB、79～60%をC、59%以下をDと分類しました。

※総合計画と総合戦略で同じ指標項目を設定している場合であっても、最終目標年度または目標値が異なるなどの理由により、評価区分が異なる場合があります。

【令和元年度 目標指標の評価一覧】

基本目標	目標指標の評価					
	指標数	評価A	評価B	評価C	評価D	評価できない
人を大切に育てる	19	4	9	3	3	-
個性の発揮と広域連携で輝く	14※	6	5	1	2	-
誇りと愛着を育む	12	3	5	4	0	-
安心・安全なまちづくり	20	8	8	2	0	2
合計	65	21	27	10	5	2

※基本施策「中海・宍道湖・大山圏域の連携推進」は、圏域市長会で検証済のため除く。

3 評価

- A 評価及び B 評価は合わせて 48 項目/65 項目、全体の 73.8%以上の目標指標は順調に推移しています。一方で、達成率が59%以下である D 評価が5項目あります。
- 出産や子育てへの安心感について目標を上回っているほか、待機児童数も減少しているなど、子育て環境日本一の実現に向けて着実に成果が表れています。このほか、農林水産業の振興や効果的で効率的な行財政運営などの基本施策において高い評価となっています。
- 様々な要因で進捗が進まないD評価の指標については、特記事項に詳細を記載しています。
- それぞれの基本目標に向けて基本施策と目標数値を定めているが、目標数値に向けた政策効果が必ずしも十分に現れていないなど、施策と目標数値の関係性が複雑化している。今後、目標数値と施策の関係性を研究するとともに、より効果的な目標指標の設定、施策の見直しを図っていきます。

松江市総合計画（2017～2021）基本施策の目標指標一覧

基本目標「1. 人を大切に育てる」

指標項目	指標の説明	計画策定時	R1実績値	R1評価	目標値 (R3)
未来を担う次世代“人材”を育てる					
学校・家庭・地域が一体となって子どもを育てていると思う市民の割合	中学生、高校生、学生、市民アンケートにおいて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	59.0% (H28)	中73.9% 高53.1% 学52.1% 市50.6% 平均57.4%	B	70.0%
全国学力・学習状況調査における全国平均値以上の調査項目数の割合	小学校6年「国語A・B」「算数A・B」4項目（科目）、中学校3年「国語A・B」「数学（A・B）」4項目、理科（H24抽出、H27実施）、英語（R元実施）における市平均値が全国平均値を上回った項目の比較	(小) 100% (H28)	(小) 0%	D	100%
	※令和元年度調査はA・B問題を統合 小学校「国語」「算数」2項目、中学校「国語」「数学」「英語」3項目	(中) 50% (H28)	(中) 66.6%	C	100%
	※参考 全国平均値を100とした時の、市平均値の数値		《小学校》《中学校》 国98.7 国100.3 算99.1 数100.3 英96.4		
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査中の質問「将来の夢や目標を持っていますか」における肯定的回答の割合	(小) 84.4% (H28)	(小) 82.3%	B	(小) 90%
		(中) 69.7% (H28)	(中) 67.2%	B	(中) 80%
市民活動・地域活動への参画割合	市民アンケートにおいて「あなたは、市民活動や地域活動に積極的に参画していますか」の設問に「参加している」と回答した市民の割合 ※H24は「市民活動についての意識調査」	51% (H24)	65.7%	A	60.0%
地域活動に参加した中高生の割合	中学生、高校生アンケートにおいて、「地域活動や行事に参加した経験がある」と回答した割合。（「よく参加している」「たまに参加している」と回答した割合。）	69.9% (H28)	中78.8% 高58.5% 平均68.7%	B	80.0%
子育て環境日本一の実現					
子育て支援策の満足割合	市民アンケートにおいて、子育て支援の満足度の点数を%として換算した数値	55.0% (H27)	64.5%	B	80.0%
安心して結婚がしやすいまちだと思う市民の割合	市民アンケートにおいて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	32.0% (H27)	63.3%	B	65.0%
安心して出産がしやすいまちだと思う市民の割合	市民アンケートにおいて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	32.0% (H27)	67.3%	A	65.0%
安心して子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	市民アンケートにおいて「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	32.0% (H27)	70.3%	A	65.0%
年度途中の待機児童数	年度途中の待機児童数/毎年3月1日	245人 (H28.3)	77人	C	0人
自立を支えるセーフティネットの整備					
生活困窮者自立相談支援事業の新規相談受付件数	自立相談支援機関における生活困窮者自立相談支援事業の新規相談受付件数/年度	622件 (H27)	424件	C	650件
生活保護からの自立世帯数	各種就労自立支援事業による生活保護からの自立世帯数/年度	37世帯 (H27)	59世帯	B	75世帯
男女共同参画社会の実現					
社会全体における男女の地位の平等感	市民アンケートにおいて、社会全体における男女の地位の平等感について「平等」と回答した市民の割合	13.8% (男女意識調査) (H27)	17.7% (市民アンケート)	D	30.0%
男女の固定的役割分担意識	市民アンケートにおいて、男女の固定的役割分担意識に否定的な市民の割合	66.4% (男女意識調査) (H27)	71% (市民アンケート)	B	80.0%
誰もが活躍できる社会の実現					
町内会などの加入率	単位自治会等届出書で届出された自治会加入世帯数/住民基本台帳世帯数	62.4% (市民意識調査) (H28)	60.1%	B	70.0%
共創による事業の割合	総合計画における主要事業数を分母とし、共創の手法で行われている事業数を分子として算出する	16.8% (H27)	68.2%	A	50.0%

松江市総合計画（2017～2021）基本施策の目標指標一覧

広聴・相談体制の充実度	市民アンケートで、「市役所の相談窓口は問合せや相談がしやすいか」と言う設問に対し「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	45.1% (H27)	37.9%	D	70.0%
-------------	---	-------------	-------	---	-------

【特記事項】

◆19項目のうち、13項目がAまたはB評価（達成率80%以上）である。

◇学力向上（C, D）：

令和元年度は中学国語と数学が全国平均を上回るなど、学校による授業改善の取組の結果がみられる。

小中とも国語、算数（数学）は、全国平均値と相違ないが、英語は全国平均値と若干開きがあり課題である。

令和2年度より小学校では外国語が教科となり、中学との連携も含め授業の充実に向け、中学校の英語教員も含めた研修、訪問指導を充実させ、外国語教育の推進を図る必要がある。

◇男女の地位の平等感（D）：

今年度実施した市民意識調査において、男女の平等感は、「学校教育の場」や「家庭生活」では向上し高くなっているものの、「政治の場」や「社会通念・慣習・しきたり」の分野は低いポイントにとどまっている。社会全体で見た場合の男女の地位の平等感を底上げしていくためには、このような分野を引き上げていく必要がある。そのため、人権の尊重や男女共同参画に係る幼い頃からの意識形成として、家庭・学校・地域などあらゆる場を通じて男女共同参画の意識づくりに取り組み、社会における制度・慣行を中立的なものとする必要がある。

また、「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」に基づき、国や地方の政治分野のしくみを変えていく必要がある。
<R2.12 下線部修正>

◇広聴・相談体制（D）：

市民アンケートで、「市役所の相談窓口は問合せや相談がしやすいか」と言う設問に対し「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合は、37.9%と目標値70%に届いていない。「伺います係」を相談窓口の総合案内のワンストップ窓口として機能の強化・充実を図っていく。

基本目標「2. 個性の発揮と広域連携で輝く」

指標項目	指標の説明	計画策定時	R1実績値	R1評価	目標値 (R3)
きらりと光る元気な企業・事業者を育てる					
市内企業へ就職する生徒・学生数	市内の高校、専修学校、高等教育機関の卒業生の地元就職数（延べ数）/年度	622人 (H27)	567人 延べ1,821人	B	延べ3,475人
誘致・新增設企業数	市外からの企業誘致・市内企業の新増設企業数（延べ数）/年度	10件 (H27)	4件 延べ16件	D	延べ50件
新規雇用計画数	立地計画の新規雇用計画数（延べ数）/年度	148件 (H27)	45件 延べ427件	B	延べ740件
創業支援事業による起業・創業者数	市の創業支援計画による起業・創業者の合計/年度	78者 (H27)	166者	A	100者以上
中心市街地商店街の営業店舗数	中心市街地の12商店街で営業している店舗数/年度	407店舗 (H27)	406店舗	B	407店舗
地域と食を支える農林水産業の振興					
農林業生産額	農林業生産額の合計/1～12月	49億円 (H27)	55億円 (H30)	A	53億円
水産業漁獲高	水産業漁獲高の合計/1～12月	41億円 (H27)	44億円	A	41億円
第1次産業新規就業者数	農林水産業への新規就業者数の合計（延べ数）/年度	(H23-27人 27平均値)	29人 延べ122人	A	延べ134人 (年平均27人)
地域が元気になるしくみづくり					
地域産業資源を生かした商品・サービスなどの開発数	「中小企業地域資源活用促進法」等に関連する、地域産業資源を生かした商品・サービスを開発件数（延べ数）/年度	4件 (H28)	0件 累計3件	D	25件 (5年間の累計)
学校給食の地産地消率	学校給食で使用する野菜のうち松江市で必要量が栽培可能な8品目（たまねぎ・キャベツ・白菜・大根・さつまいも・かぶ・きゅうり・ほうれん草）における使用割合（重量ベース）/年度	29.7% (H27)	43.8%	A	40.0%
観光文化産業の魅力向上とインバウンド強化					
観光入込客数	観光施設・イベント等の入込客数/1～12月	1,027万人 (H28)	1,046万人	B	1100万人
観光宿泊客数	市内宿泊施設の延べ宿泊客数/1～12月	210万人 (H28)	211万人	B	250万人

松江市総合計画（2017～2021）基本施策の目標指標一覧

外国人観光客入込客数	観光施設への外国人入込客数/1～12月	9.2万人 (H28)	11万人	C	20万人
外国人観光宿泊客数	外国人の市内宿泊施設の延べ宿泊客数/1～12月	4.7万人 (H28)	7.9万人	A	10万人
中海・宍道湖・大山圏域の連携推進					
圏域人口	5市（米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市）の総人口 ※大山圏域含む	65.8万人 (H27)	64.5万人	-	65.4万人
圏域への観光入込客数	5市（米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市）の年間観光入込客数/1～12月 ※大山圏域含む	2,849万人 (H27)	2,857万人	-	3,870万人
圏域での外国人宿泊者数	5市（米子市・境港市・松江市・出雲市・安来市）の年間外国人宿泊客数/1～12月 ※大山圏域含む	8.5万人 (H27)	14.7万人	-	11.2万人
山陰いいものマルシェ来場者数（累計）	山陰いいものマルシェの来訪者数/年度	4.5万人 (H27)	-	-	延べ15万人 (H29-R1累計)
ビジネスマッチング商談件数（延べ件数）	ビジネスマッチング商談・展示会における商談件数（延べ数）/年度	528件 (H27)	延べ3,009件 (H27～R1)	-	延べ1,800件

【特記事項】

◆14項目のうち、11項目がAまたはB評価（達成率80%以上）である。※中海・宍道湖・大山圏域の連携推進にかかる指標を除く。

◇企業誘致（D）：

近年減少傾向にあるが、市内外問わず雇用の場の確保・拡大に向け、島根県はじめ関係機関との連携により継続して誘致活動を進める。また、朝日ヒルズ工業団地では令和元年度に価格改定（減額）をしており、周知を図り売却・企業立地につなげたい。

一方で、新型コロナウイルスによる景気の低迷により企業の投資意欲が下がっており、状況を見極めながら対応を図る。

◇地域産業資源を生かした商品・サービス（D）：

当該補助制度は、申請時期や地域資源の活用など制約が多く、かつ域外へ地域資源を売り込む比較的事業規模の大きな事業であることから、小規模事業者にとって負担が大きいため、認定数が減少している。

◇外国人観光客入込客数（C）：

平成31年1月～令和元年12月の外国人観光入込客数は107,286人、前年比16%減となったが、境港に寄港するクルーズ客船の外国人乗船客数や手配ツアー催行数なども大きな変動の要因と考えられる。

個人旅行（FIT）増加に伴い、「観光施設を訪れる」以外のニーズも強まっており、今後は商店街等のまちあるきを推進し、飲食や買い物、体験などによる消費喚起を図る必要がある。

※実績値及び数値目標について

「山陰いいものマルシェ来場者数（3年間累計）」の令和元年度実績値：

令和元年度のいいものマルシェは3月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

基本目標「3. 誇りと愛着を生む」

指標項目	指標の説明	計画策定時	R1実績値	R1評価	目標値 (R3)
自然環境・歴史・文化を生かしたまちづくりの推進					
松江に愛着を持つ市民の割合	中学生、高校生、学生、市民アンケートにおいて、「松江に愛着を感じている」と回答した割合	中76% 高71% (H27) 平均73.5%	中77.2% 高65.6% 学74.4% 市82.0% 平均74.8%	B	80.0%
リサイクル率（県庁所在自治体順位）	リサイクル率（ごみ処理量に対する資源化量の割合）の県庁所在自治体順位/年度	30.5% (H26) 2位	27.7% 3位 (H30)	B	34.0% 1位
松江城天守登閣者数	松江城天守の登閣者数/年度	535,494人 (H27)	459,179人	B	480,000人
松江歴史館入館者数	有料、無料問わず松江歴史館施設全体の入館者数/年度	219,679人 (H27)	183,533人	B	200,000人
松江歴史館児童・生徒団体利用件数	児童・生徒の団体が松江歴史館を利用した件数/年度	110件 (H28)	102件	C	130件
歴史的建造物登録件数	歴史的建造物の登録件数/年度	3件 (H28)	2件 H28～延べ13件	C	33件

松江市総合計画（2017～2021）基本施策の目標指標一覧

松江の魅力高める環境・都市デザインの推進

景観計画重点区域指定数（延べ数）	景観計画に定める重点区域の指定区域（延べ数）/年度	5箇所（H28）	7箇所	A	7箇所
伝統美観保存区域等修景事業補助件数（延べ件数）	伝統美観保存区域等修景事業費補助金交付要綱に基づき交付した補助件数（延べ数）/年度	38件（H28）	48件	A	53件
中心市街地の水辺が利用しやすいと感じる人の割合	市民アンケートにおいて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合	47.6%（H27）	43.1%	C	70.0%
山陰自動車道整備率	山陰道島根県内延長193.6kmに対する供用開始延長/年度	59%（H28）	67%	A	67%
人材還流と松江暮らしの推進					
UIターン者数	転入時アンケートで「県外から転入し5年以上居住する意思がある」と回答した人（延べ数）/年度	1,383人（H27）	1,104人 延べ3,552人	C	延べ7,915人
まちづくりに参加する学生の割合	学生アンケートにおいて「地域活動に参加した経験がある」と回答した割合	55.0%（H27）	64.6%	B	80.0%

【特記事項】

◆12項目のうち、8項目がAまたはB評価（達成率80%以上）である。

◇歴史的建造物登録件数（C）：

松江市歴史的建造物登録認定を受けた建造物の所有者は建造物の維持管理を行い、松江市はその維持管理行為に対し支援を実施するという10年間の期間の契約を行い歴史的なまち並みの保全継承を実施していく制度である。

個人資産を対象とするため、登録にあたっては所有者の意向確認、建物調査や審議会への諮問等、慎重な対応を要している。

◇中心市街地の水辺が利用しやすいと感じる人の割合（C）：

当市で行っている、ミズベリング松江協議会を中心とした社会実験等の水辺利用促進の取組が、「水辺の利用しやすい」の向上につながるかは不明確である。今後、かわまちづくり計画に基づき、水辺の公共空間が整備されることで、利用しやすいの向上に寄与すると考えている。

◇UIターン者（C）：

島根県同様に、年々減少傾向である。人手不足から都会地の企業の採用活動が活発になっていることが影響している。松江の魅力を発信するため、市内外へのシティプロモーションを強化し、効率的にPRしていく。また引き続きふるさと島根定住財団と連携し、UIターン希望者それぞれに応じたきめの細かい対応を行う。松江ファンクラブの戦略的取組や松江モデルの働き方の提供、テレワークの受け入れを通じ、将来、松江への移住につながる関係人口の創出・拡大を図っていく。

基本目標「4. 安心・安全なまちづくり」

指標項目	指標の説明	計画策定時	R1実績値	R1評価	目標値（R3）
健康都市まつえの推進					
健康寿命（65歳平均自立期間）	65歳から数えて、介護を必要とせず、自立して健康で生活できる期間/年度	女性 21.01歳（H22）	-	-	21.21年（R4）
		男性 17.28歳（H22）	-	-	17.93年（R4）
国保特定健診受診率	国民健康保険加入者の健診受診率/年度	45.6%（H27）	49.2% （R2年5月現在速報値）	B	60.0%
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	週1回以上運動やスポーツ（ウォーキングや体操なども含む）をしている市民の割合	—	38.2%	B	40.0%
地域で支え合う福祉体制づくり					
多職種連携会議の実施箇所数	市内の各日常生活圏域エリアごとに開催される医療・介護・福祉などの多職種で開催される連携会議の実施箇所数/年度	4箇所（H28）	7箇所	A	6箇所
高齢者クラブ会員数	松江市高齢者クラブ連合会の会員数/毎年4月1日	13,287人（H28）	12,143人	B	14,000人
認知症サポーター数累計	認知症サポーター養成講座の受講者数/年度	14,846人（H27）	20,949人	A	24,000人

松江市総合計画（2017～2021）基本施策の目標指標一覧

要配慮者支援組織数	要配慮者支援組織とは、要配慮者（高齢者や障がいのある方）が、住み慣れた地域で、いつまでも安心・安全に暮らしていくために平常時から地域での「共助」の支え合いの仕組みを作るために結成する組織。	136組織（H27）	200組織	C	350組織
安全に安心して生活できる環境づくり					
住みやすさの実感割合	市民アンケートにおいて「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答した割合	90.0%（H27）	82.2%	B	95.0%
消防団員の充足率	条例定数(2,255名)に対する消防団員の実数の割合/毎年4月1日	93.4%（H27）	90.1%	B	100%
自主防災組織の結成率	自主防災組織の結成率/年度	70.7%（H27）	71.1%	C	100.0%
交通事故発生件数	松江市内における交通事故発生件数（高速道路含む）/1～12月	526件（H27）	339件	A	360件
今ある社会資本の活用と必要な社会資本の整備					
水道管路耐震化率	耐震性を満たした管路延長の総延長に対する割合	33.0%（H27）	37.0%	A	37.8%
橋梁修繕数	松江市道路施設長寿命化計画並びに橋梁長寿命化修繕計画で点検結果による劣化損傷が大きい判定で、健全度Ⅲ・Ⅳの対象橋梁となったもの	延べ4橋（H28）	延べ46橋	B	延べ84橋
道路愛護団数	道路愛護活動に参加される団体の数/年度	256団体（H28）	252団体	B	280団体
河川愛護団数	河川愛護活動に参加される団体の数/年度	154団体（H28）	152団体	B	160団体
時代に適応した効果的で効率的な行財政運営					
実質公債費比率	借入金（地方債）の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す。比率が18%以上になると、起債にあたり許可が必要になる	15.4%（H27）	12.5%	A	11.1% (12.5%※)
将来負担比率	一般会計などの借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化している。比率が高いと、単年度の標準的な財政規模に比べて将来の負担が大きいことを意味する	128.8%（H27）	83.6%	A	75.0% (100.3%※)
地方債残高	一般会計が借りている借入金の残高	1,248億円（H27）	1,091億円	A	1,087億円 (1,085億円※)
財政調整基金・減債基金残高	財政調整基金：予測し得ない収入の減少や支出の増加などに備えて積立てる基金 減債基金：地方債の償還を計画的に行うために積立てる基金	53億円（H27）	53億円	A	44億円 (52億円※)

【特記事項】

◆20項目のうち、16項目がAまたはB評価（達成率80%以上）である。

◇要配慮者支援組織数（C）、◇自主防災組織の結成率（C）：

要配慮者支援組織及び自主防災組織については、自治会など地域の住民組織の歴史的経過や役割も踏まえ、市民部、防災安全部、福祉部、3部が連携して制度の目的・役割の説明など、積極的に地域に出向き、各地域の実情に応じた支援を行い組織化を図っていく。

積極的に地域に出向き、これまでの自治会単位に加えて、公民館や自治会連合会単位など地域の実情に応じた組織化が図れるよう働きかけていく。

※実績値及び数値目標について

「健康寿命」の令和元年度実績値：SHIDS島根県健康指標データベースシステムにより島根県で算出。コロナの影響により、国から算出に必要な数値の提供が遅れている（12月頃に算出の予定）

「実質公債費比率」「将来負担比率」「地方債残高」「財政調整基金・減債基金残高」の令和3年度目標値：中期財政見通しに基づき変更（毎年）